

10月から始まる自治体経営実務講座

大学院では、今年度新任教員として赴任された先生方を中心に「自治体経営実務」の公開講座が開催されます。そこで出井信夫教授をコーディネーターに、講座を担当する4人の先生方に、公益大に赴任しての感想や10月から始まる講座のポイントなどを語っていただきました。



出井 はじめに、公益大に赴任した感想などをお聞きしたいと思います。

宮本 まず、当地の食べ物おいしいことに感激しました。大学院のキャンパスはタウンキャンパスと呼ばれ鶴岡城址公園内にあります。施設は慶應大学先端生命科学研究所や致道ライブラリーと一体的に整備された複合多機能施設で、環境が非常に素晴らしい。また日本で唯一の「公益学」を学ぶ大学院ということで、教員も学生もみんな「公益」を意識して研鑽していると感じています。

福嶋 この4月から公益大に赴任して、大学と大学院で各2コマ講義を担当しております。大学と大学院が離れているので移動に時間がかかるという点を除いては、教育の場と研究の場が近接しており、教育・研究環境は非常に快適です。学生についても大学、大学院のゼミ共に積極的で能力のある学生に初年度から恵まれています。

藤田 私の場合、3月まで勤めていた弘前大学のある弘前市と大学院のある鶴岡市が城下町であることから町の雰囲気似ており、違和感なく溶け込むことができよかったと思っています。また大学院の学生は非常に問題意識が高く、よく勉強しているという印象を受けました。

出井 キャンパスのつくり方が、酒田の学部は大学の施設を市民に開放して市民と交流するという視点から施設がつくられているのに対して、大学院は研究を重視した施設づくりになっている点が、他の大学には見られない大きな特徴であると思います。

私たちが大学に貢献できること

出井 今回の公開講座の開催にあたっては、4月に新任教員として赴任した私どもは、大学に貢献できることは何かと考えました。特に自治体の問題が山積している中で、これだけ多彩な分野の先生が赴任されたわけです。私はこれまで地方公務員の研修や自治体の各種委員会の会長や委員をしてきました。その経験から、先生方の研究分野を体系的に一つに集約し、公務員の方などを対象に、集中講義形式による公開講座が考えられないかと先生方にご相談したところ、すぐに賛同していただき企画立案にご協力願った次第です。テーマや内容、日程等については先生方にアイデアを出していただきました。また1回きりのセミナーではなく、先生方の持ち味を活かせるような内容にしたいと考えました。

また、在学生は所定の単位が取得できるように講義時間を配慮しつつ、と同時に、科目履修制度を活用して大学院に入学希望する方の入学前の講義として位置づけることなどの点を先生方と相談したわけです。

それでは各先生方から、それぞれご担当される内容についてお話いただきたいと思います。

宮本 私は、今回の提案はとてもいいアイデアだと考えたのでただちに賛成しました。非常にタイムリーなテーマだと思います。今、地方自治・地方が大変な時代にあることは周知のとおりです。それを少し踏み込んで議論しないとムードだけになってしまう恐れがあります。下手をすると東京を中心にした中央集権になってしまうと。それに反発するような意味で、我々がここに来てお役に立つことをしたいと思っています。内容としては地方分権・地方自治の大きなうねりを論じながら、新しい副市長制の導入などを例にして自治体のトップマネジメント、行政マネジメントなどについて自治体実務を掘り下げてみたい。公務員の方に限らず、議員さんや民間の会社員、主婦の方などにも講座を聞いていただき、感想が聞けるとありがたいですね。



講座日程

〔自治体経営実務Ⅰ〕

・日時…10／7(日) 10:00～17:30

- | | |
|-------------------------------------|----------|
| ① 行政改革の視点と方向—New Public Management— | 講師：和田 明子 |
| ② 自治体の財政分析と財政再建—自治体財政健全化法を中心に— | 講師：出井 信夫 |
| ③ 地方公営企業（第3セクターを含む）の経営改革 | 講師：藤田 正一 |
| ④ 地方分権の行方 | 講師：宮本 忠 |
| ⑤ 公会計改革—公会計改革で何が変わる— | 講師：福嶋 壽 |

〔自治体経営実務Ⅱ〕

・日時…10／8(月・祝) 10:00～17:30

- | | |
|-------------------------------|----------|
| ① 自治体の財政分析と財政診断の方法 | 講師：出井 信夫 |
| ② 自治体の財政再建—自治体財政健全化法を中心に— | 講師：出井 信夫 |
| ③ 事業評価・行政評価のあり方と市場化テストの動向と課題 | 講師：出井 信夫 |
| ④ 公会計改革—バランスシートの作成法とその評価法（Ⅰ）— | 講師：福嶋 壽 |
| ⑤ 公会計改革—バランスシートの作成法とその評価法（Ⅱ）— | 講師：福嶋 壽 |



福嶋 今回の自治体経営実務講座で私が担当する分野は、公会計改革にかかわる分野です。公会計改革とは一言で言いますと、自治体会計の分野に企業会計の手法を導入するということで、自治体会計の企業会計化ということです。具体的な講座の内容については、総論部分を講座で行います。ここでは公会計・公会計改革の必要性や意義から説き起こし、従来の公会計の問題点、公会計改革の具体的な動きについて言及した上で、公会計改革がもたらす方向について説明します。講座では、公会計改革の各論部分で、バランスシートの作成方法とその評価法を説明します。講座では、企業の損益計算書に相当する行政コスト計算書の作成方法とその評価法、及びキャッシュフロー計算書の作成方法とその評価法ならびに事例の検証を行います。



藤田 私は地方公企業の経営改革ということをテーマに進めていきたいと思っています。多くの自治体は、自主財源が乏しいことや義務的経費の増加などによって財源不足額が年々拡大しており、極めて厳しい財政状態にあります。このような状況を打開するためにすべての自治体は新たな視点からの

取組みを見出し、地方行財政の大改革を断行しています。その新たな視点からの取組みの一環として、地方公企業の経営改革が各方面から強く提唱されるようになりました。私は、この度の自治体経営実務の公開講座において、実定法上の地方公営企業が自らの経営目的としての公共の利益を効率的・効果的に達成するための経営改革について考察するだけでなく、この考察の範囲を自治体が当該法人の基本金または資本金に対して4分の1出資している場合の地方公企業まで拡大し、考察したいと思っています。できれば地方公企業の現場で経営に携わっている方などにも積極的に参加していただければと希望しています。

夕張市の財政破綻をきっかけに

出井 今、先生方からいろいろとご説明をいただきました。自治体経営が必要とされる大きな背景とし

て、例の夕張市の財政破綻が転機となって自治体の財政状況、あるいは地域における自治体の役割をもう一度再検討・見直しをする中で、自治体の公益性あるいは自治体の公共サービスのあり方など、その行政運営の結果として地方財政の状況について議論されてきているかと思います。特に「自治体財政健全化法」と一般的に言われている法律が6月に今国会を通過し、待ったなしに平成20年度からこれに基づいて各自治体は財政指標などを公表しなければなりません。まさに今回の公開講座の主旨、テーマはこの方向に合致するわけです。藤田先生が言われたように、地方公営企業や第3セクターなど、一般企業でいう、自治体の関連子会社まで含めた財政の健全化が問われているわけです。どういう観点から市民サービスを行っているか、そういうことに対して



いろいろな角度から考えていく必要があるのではないかと。ある政党の地方議員の研修担当者からは、一つの大学院の専任教員だけで、現在待ったなしで問われている愁眉の課題について一定の方向を出せる、これだけのスタッフがそろえることは今日本にはないのではないかと賞賛されました。

宮本 それに付け加えさせていただきたいのですが、新任ということで我々がここで対談をしていますが、講座にはニュージーランドの行政研究をされている和田先生も参加されます。和田先生の講義では、世界的に有名なニュージーランドの行政改革の歴史や現実も知ることができます。日本の地方自治経営実務だけでなくそのもうひとつ奥の外国の例も勉強できるというのは非常に有意義であると、この講座を自画自賛したいと思います。

藤田 この講座では、我々も受講生から現場の新しい情報を得てディスカッションをしながら勉強ができ、お互いが進化していけるというメリットもあると思います。

宮本 通常こういう講義というのは、東京からきた先生が解説してそれを理解しようとはしますが、この庄内の人たちを中心として我々研究者と受講者が一緒にこの問題について意見を交わし合うということは、今までのこの種の講演やシンポジウムとは一味違うものが期待できるのではないのでしょうか。

出井 決してオーバーではなく、庄内から始まる「公益の源流」の体現ですね。

講座日程

〔自治体経営実務Ⅲ〕

・日時…10/14(日) 10:00～17:30

- | | |
|---|----------|
| ① 第3セクター・NPO法人・公益法人とコミュニティビジネス | 講師：出井 信夫 |
| ② 第3セクターの経営悪化と経営改革
―事例と総務省「第三セクターに関する指針」を中心― | 講師：出井 信夫 |
| ③ 公企業の公共性と企業性 | 講師：藤田 正一 |
| ④ 第3セクターの経営改革 | 講師：藤田 正一 |
| ⑤ 公企業の経営評価と独立採算制 | 講師：藤田 正一 |

〔自治体経営実務Ⅳ〕

・日時…10/28(日) 10:00～17:30

- | | |
|---|----------|
| ① 指定管理者制度の課題と展望
―選定委員会とモニタリングのあり方を中心に― | 講師：出井 信夫 |
| ② ふるさと納税とふるさと支援の課題
―寄付金税制度を中心に― | 講師：出井 信夫 |
| ③ 公会計改革―行政コスト計算書の作成方法とその評価法― | 講師：福嶋 壽 |
| ④ 公会計改革―キャッシュフロー計算書とその評価法― | 講師：福嶋 壽 |
| ⑤ 公会計改革―公会計の企業会計化― | 講師：福嶋 壽 |